

〔東大寺〕

てんぼうたいそう

天坊体操

社会福祉法人 東大寺福祉事業団
東大寺福祉療育病院



村越潤峯書
天坊



社会福祉法人 東大寺福祉事業団 東大寺福祉療育病院

東大寺では、聖武天皇1200年御遠忌記念行事として東大寺福祉事業団を設立し、昭和30年7月に肢体不自由児施設「東大寺整肢園」を開設。その後、平成11年1月に重症心身障害児(者)通所施設「華の明」を開設。平成20年5月には、入所児の重症化に対応するため、重症心身障害児施設「光明園」を開設。重症児・者の健康の維持・増進に力を注ぐとともに、生活の充実にも積極的に取り組んでいます。(施設名称は当時)



〒630-8211 奈良県奈良市雑司町406-1
Tel.0742-22-5577 Fax.0742-23-0198

「東大寺・天坊体操」振付ビデオや活動報告は
こちらへアクセスしてください。

<http://tenboutaisou.jp>



天坊君とは：

平成遷都三〇〇年祭の Mascot
キャラクター「せんとくん」を制作
した彫刻家であり、東京藝術大学
大学院教授 籾内佐斗司(やぶうち
さとし)さんが、病院の子どもたち
の未来を願って制作・寄贈いただい
た「上向き童子・天坊(てんぼう)君」
のこと。天を仰ぐ無垢な姿に子ども
の成長を願います。



上向き童子
天坊(てんぼう)君



善財童子



五智童子

彫刻家籾内さんは、「善財童子」
「五智童子」のお面も制作。南流石
さんとのコラボレーションで、カラダ
とこころの運動を展開しています。

お華の自分を抱きしめて、ミュージックスタート!!!

天坊体操

東大寺福祉療育病院の廊下で、毎日毎日、子どもたちをあたたく見守る天坊くんのおココロを、私なりに5つの形におきかえて『天坊体操』としました。「自分を抱きしめる」「空を見上げる」「あったかホッペタッチ」「ココロを大切に」「感謝の合掌」リズムに合わせて楽しく躍ってください。 — 南 流石



木魚の音を12回聞いてから

お華の自分を抱きしめて、鐘の音を聞く

空を見上げる

あったかホッペタッチ

ココロを大切に

感謝の合掌

感謝の合掌

ココロを大切に

あったかホッペタッチ

空を見上げる

木魚の音を6回聞いてから

もう一度、お華の自分を抱きしめて、鐘の音を聞く

空を見上げる

あったかホッペタッチ

ココロを大切に

感謝の合掌

感謝の合掌

ココロを大切に

あったかホッペタッチ

空を見上げる

最後にもう一度、お華の自分を抱きしめて、鐘の音を聞く

Profile

南 流石 (みなみ・さすが)

乳幼児から高齢者へ向けた様々なシーンにおいて「躍り」を提供する振付界の第一人者。幼少期より、モダン、クラシック、ジャズ、アクロバットなど様々なジャンルのダンスにいそしみ、16歳より指導者となる。数多くのCMやアーティストに振付演出を提供し現在に至る。また、医療従事者らと共に「ココロとカラダの健康プログラム開発」を国内外で積極的に行っている。

